



一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: <http://lets.some.jp>
E-mail: lets@some.jp

うるわし通信

令和元年5月

エルト桜井 リニューアルに期待する



①エルト桜井の大規模改修

5月11日（土）、この間改修工事で全面的に閉館していたまほろばセンター2階に、子ども広場「ひみっこぱーく」と多目的ホール・交流室、市民活動交流拠点、健康ステーション、ドレミの広場が新しくリニューアルオープンすることとなる。また、1階にはスーパー「ヤマトー」が出店の「大和のFOOD PARK」も中旬にオープンが予定されている。

うるわしの会としても、大改修に当たって各種の要望活動をおこなってきた経過もあり、まほろばセンターの運営業務の受託業者になったミズノスポーツサービス（株）のマネジャーである荒木輝之氏へのインタビューをおこない、施設の概要や今後の運営について、お話を伺ったので、その概要を紹介します。

ミズノスポーツは、子ども広場「ひみっこぱーく」と「多目的ホール・交流室」の運営管理を桜井市より受託し午前9時～午後9時までの施設管理を担当するとのことであった。健康ステーションやドレミの広場等は桜井市が運営をおこなうようになっている。



ボーネルンド社の遊具

②「ひみっこぱーくは、新しい遊びの発見や世代間の繋がりづくりを目指す」（荒木氏のコメント）

今回のリニューアルの目玉でもある「ひみっこぱーく」は、0歳から小学生6年生までの子どもたちが体を動かして遊べる有料の屋内遊び場として、ボーネルンド社というこの業界では著名な業者がプロデュースした大型遊具が配置されている。

その内容は市広報誌「わかざくら」4月号で詳しく紹介されていたので、省略させていただく。施設利用料が最初の1時間までが子ども400円（市内）で、保護者等は300円が必要。延長に際しては、1時間につき

100円の延長料金が必要となる。(大人は延長料金不要) 市外の利用者はそれぞれ100円/時間が加算される。利用には、1回1時間程度で最低700円(子どもと大人の2名の場合)が必要となるのでりピーター割引などの制度があればと尋ねたが、現状では考えていないとの回答だった。なお、事業形態が受託ということで、利用料金はミズノスポーツサービスの収入ではなく、市の収入となるとのことであった。

子育て支援で有名となった明石市では、同様のポーネルド社の遊具を入れた施設が駅前ビルに「あかしこども広場」があり、市内の利用者は無料。市外の場合300円となっている。但し利用時間は1回70分の入れ替え制で対応する人気ぶりであった。



ポーネルド社の遊具

③駅周辺整備と地域の活性化

今回のエルト整備でのまほろばセンターの大規模改修と1階部分へのスーパー等の店舗の出店は、近鉄百貨店桜井店の撤退以降の駅南口の再開発・活性化に取り組んできた人々の願いが結実した成果と言えると共に、県と桜井市のまちづくり協定に基づく具体的な取組と言える。併せて、今秋には桜井駅北口に新しくホテルの建設が完成し、年内開業が予定されており、桜井の玄関口としての駅周辺の活性化の基盤整備が進むこととなる。

そして今後、どのように地域の活性化につなげていくかのソフト面でのさまざまな対応について、市民それぞれが考え、実行していくことが必要となってくる。

桜井市は人口減少と少子高齢化が急速に進行しており、市外からの観光や宿泊客の増加、市内での購買力強化など、地域での取組みを担うのは、市民の知恵であり協働の取組みと考える。既にその活動は始まっているが、うるわしの会としても新しい時代への努力を進めたい。

④今後への期待

今回の様々な整備事業には多額の税金が投入され、桜井市の活性化に向けた起爆剤としてのハード整備が行われている。併せて、今後施設の維持運営にも費用が必要とされる。プレオープンの300名無料招待には多数の応募があるとのことであるが、今後とも駅前施設が有意義に活用され、まほろばセンターが多世代の人々の活動・交流の拠点となるような事業を積極的に展開されることが今回の施設整備の目的である。このことから、施設PRを周辺自治体へも積極的に実施(講習講座事業を含め)していくことやりピーターの確保を期待したい。

併せて、今回の施設が複合施設となっていることから、防災避難訓練活動の徹底や、利用者の意見や要望の汲み上げ、行政・受託事業者・市民が共にエルト桜井を育てていくための手立ての対応などが今後の運営に期待される。

うるわし通信は、今後も継続してまほろばセンターについて紹介していきたいと考えている。なお、まほろばセンター独自のホームページが運用されており、桜井市役所のホームページから入ることができるので、参考にされたい。(編集子 楠木克弘)

新しい時代を切り開く4K・8Kの放送開始

平成30年12月1日から新4K・8Kのテレビジョン放送が始まりました。

多くのメディアで宣伝されている4K・8Kとはどのようなテレビジョンなのでしょうか。

4K・8Kは放送界の新幹線ともいわれています。すなわち多くのデータを高速で送る送受信が可能となり、解像度や画像の向上が期待されています。

テレビジョン放送の4Kは現行のハイビジョン(200万画素)に比べて、映像は4倍の画素数(800万画素)、8Kは16倍の画素数(3,300万画素)で、音声は4Kが5.1チャンネル、8Kは22.2チャンネルで放送され、自分の目で見る自然な景観と臨場感あふれる音声を放送衛星経由で瞬時にテレビ受信機に提供してくれます。まさに新幹線に匹敵する放送界のエースと呼べるのではないのでしょうか。

●4K・8Kテレビの魅力

①解像度の向上：画素数が増えれば、従来のテレビでは見えなかった人物の顔の皺や髪の毛一本まで忠実に表現されるので、ドラマに出演しているタレントさんからは「アップショットではあまりにも細部まで見えすぎて、緊張して撮影に臨んでいる」との声も聴かれます。

②画像の高速表示：野球やサッカー、ラグビーなど動きの速いスポーツ中継では「ぼやけたり」、「不自然な動き」が気になりましたが、滑らかな映像表現ができるようになりました。

③広い色域：表現できる色の範囲が大幅に拡大され、「実際に人間の目で見える色」に近い表現が可能となりました。

④輝度の範囲：映像表現のできる明るさの範囲も広がり、白飛びや黒詰り現象が改善されました。

●4K・8Kテレビの視聴

視聴するには4K・8K対応テレビと専用アンテナが必要です。大型家電ショップに行けば各メーカーの製品が試聴できます。ただし8Kテレビは現在シャープ(AQUOS)のみが生産販売をしています。現在8Kの番組はNHKが制作・放送をし、民放各社は参加していません。また、全国のNHKに行けば、投射型の大幅な画面で迫力のある映像と音声が見聴できます。

●4K・8Kの将来展望について

日本のテレビジョン放送は1953年2月1日にNHKから白黒テレビの放送が開始され、その後カラーテレビ、デジタル放送、ハイビジョン、衛星放送と進化を続けてきましたが、8Kテレビジョンは放送技術の粋を集めた最終形態とも言われています。

放送開始当初の4K・8Kテレビの普及率は全世帯の1%という情報もあり、まだまだ普及には時間がかかるのではないかとされています。

1964年に開催された東京オリンピック大会では全競技をカラーテレビで中継、海外にも衛星中継で配信しました。この後カラーテレビは爆発的な勢いで普及しました。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会で、NHKは多くの中継を4K・8Kで放送する予定です。オリンピックが引き金となり、今後大幅な普及による経済効果が期待されています。「百聞は一見に如かず」圧倒される立体的な映像と臨場感あふれる音声を体験されてはいかがでしょうか。
(高瀬 安男)



うるわしの桜井をつくる会定時総会

●第9回定時総会を下記の通り開催させていただきます。なお、当日は総会の後公開講演会を開催しますので、多数のご参加をお待ちしています。

日時 令和元年6月22日(土) 13時(受付12時30分)

場所 大神神社大礼記念館

議案 平成30年度事業報告 同決算報告 監査報告
令和元年度事業計画 同予算案

公開講演会

①「大神神社と国の始まり」

講師 大神神社 権禰宜 山田 浩之 氏

②「新元号 令和に寄せて」

講師 犬養万葉記念館 館長 岡本 三千代 氏



山田 浩之 氏



岡本 三千代 氏

お知らせ

横大路の整備に向けて

桜井市内を通る横大路（伊勢街道）が、『最古の国道』として、平成29年度の日本遺産に認定されています。「日本遺産」は、地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語る、魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を文化庁が認定するものです。今回、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の助成を受けて、桜井市西之宮の三輪神社境内にあるケヤキ周辺の整備が行われることが決定しました。このケヤキは、江戸時代において横大路（当時は伊勢街道と呼ばれる）を往来する人々のランドマークとなった巨樹で、「西国三十三所名所図絵」にも紹介されています。地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることも目的としています。



【編集後記】 「平成最後の〇〇」のうたい文句の後には、令和フィーバーでの御代替わりとなった。万葉集への関心が高まって、関連の多くの場所に人々が訪れているとのことである。桜井も、その点では市内の万葉歌碑などを大いに紹介して、桜井への誘客拡大のチャンスとしなければならない。

ところで、7月参議院選挙・9月からのラグビーワールドカップ・10月消費税値上げ・来年のオリンピック・パラリンピックと様々なイベントが続く中で、日本国憲法「改正」への動きが強まっている。憲法第97条は、「この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつて、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」と規定する。

昨今の国政ををはじめ各選挙投票率の低さは現状への「不満やあきらめ」、それとも「満足」からなのだろうか。自由獲得の努力が忘れられてはいけない。

(2019. 5.3楠木)

うるわし通信発行人
高瀬 安男
TEL:090-1678-9157